



リハビリテーション科



スタッフ紹介

医師名【役職】		出身大学/取得年	専門分野	資格等
がもう かずしげ 蒲生 和重 【ハンドセンター部長・ リハビリテーション科 部長】		大阪医科大学 1999年	整形外科 手外科	日本整形外科学会: 専門医、認定運動器リハビリテーション医、認定リウマチ医 日本手外科学会認定: 手外科専門医 日本リウマチ学会: 専門医 米国手外科学会(ASSH)国際会員
やすだ なおひろ 安田 直弘 【医長】		山梨大学 2011年	整形外科 骨・軟部腫瘍	日本整形外科学会: 専門医 日本がん治療認定医機構: がん治療認定医



現在までの診療内容

- 豊富なスタッフによる急性期リハビリテーションの実践
(理学療法士17名、作業療法士6名、言語聴覚療法士5名)
- 整形外科術後や脳卒中発症後、早期離床を目指した介入
- 外科系の術後、肺炎、急性心筋梗塞の早期リハビリ、また集中治療室(ICU)での床上リハビリの早期提供
- 施設基準は下記を取得
脳血管疾患等リハビリテーション(I)
運動器リハビリテーション(I)
呼吸器リハビリテーション(I)
心大血管疾患リハビリテーション(I)
がん患者リハビリテーション



今後の当科の方向性

- 入院患者さんの早期(自宅)退院を最大目標に掲げたリハビリの内容充実
- 長期リハビリが必要な症例の転院に向けての積極的な介助と支援
(回復期病床や療養型病床、老健施設など地域関連施設および登録医の先生方との密な連携の促進)
- 運動器・呼吸器・脳・心臓・小児などの専門領域に加え、がんのリハビリテーションへの積極的介入
- 院内の各専門チーム(褥瘡・嚥下・栄養・呼吸・緩和ケア)との多職種協働によるチーム医療の実践
- 骨折を生じた骨粗鬆症患者の二次骨折予防の取り組み
- 当科で治療経験した症例をもとにした積極的な学会報告活動



総件数: 79,721件

